

令和6年度使用小学校用

教科用図書調査実施結果一覧表

令和5年7月

津市教科用図書調査研究委員会

語

目

教科書の名称 発行者の番号・略称		新編 新しい国語 2・東書	
調査項目		理由	
1 学習指導要領に定める教科書の目標を達成するための工夫	(1) 本教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	・ 単元の導入ページに、その単元で身に付ける資質・能力を「言葉の力」として示しており、児童が学習の目標を持ちやすい。 ・ 単元ごとに「学習の流れ」(見通し)を取り組むよう示されており、見通しを軸として主体的に学習するよう工夫されている。(3年下P38) ・ 「取り組む」では、主体的な学習を遂行するための問いが提示され、児童が自ら考えを深められるように、ポイントや具体例などが示されている。 ・ 「取り組む」の終盤では、学んだことを振り返り、対話的で深い学びにつながる構想となっている。 ・ 「振り返り」は見通しに関わって、児童が主体的に学びを振り返り、考えをさらに広げ深められるようにしている。 ・ 「生かそう」では、学習内容を今後の活動に生かすための手だてが示されている。(3年下P50)
	(2) 言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	◎	・ 単元の導入ページには、二枚の導入ページと「言葉の力」を高めることができる。 ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10)
	(3) 情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・ 単元に「デジタルノートのつくり方」を掲載し(4年上P12)、調べたことや考えたことをシンキングツールを活用して整理する方法が示されており、ICTを活用した学習活動を進めることができる。 ・ 単元に「デジタルノートのつくり方」を掲載し(4年上P12)、調べたことや考えたことをシンキングツールを活用して整理する方法が示されており、ICTを活用した学習活動を進めることができる。 ・ 単元に「デジタルノートのつくり方」を掲載し(4年上P12)、調べたことや考えたことをシンキングツールを活用して整理する方法が示されており、ICTを活用した学習活動を進めることができる。 ・ 単元に「デジタルノートのつくり方」を掲載し(4年上P12)、調べたことや考えたことをシンキングツールを活用して整理する方法が示されており、ICTを活用した学習活動を進めることができる。 ・ 単元に「デジタルノートのつくり方」を掲載し(4年上P12)、調べたことや考えたことをシンキングツールを活用して整理する方法が示されており、ICTを活用した学習活動を進めることができる。
	(4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返り振り返るための工夫	○	・ 単元の導入ページには、二枚の導入ページと「言葉の力」を高めることができる。 ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10) ・ 単元の導入ページに、どのような「言葉の力」を身に付けていくかが示されている。(6年下P10)
	(5) 各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫		
2 使用上の便宜	(6) 児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	・ 単元の導入ページに「言葉の力」や「学習の流れ」が示され、「振り返り」ページには、単元導入ページの「言葉の力」に対応した詳細な「言葉の力」が掲載されており、児童の自主的、自発的な学習が促されている。 ・ 単元の導入ページに「言葉の力」や「学習の流れ」が示され、「振り返り」ページには、単元導入ページの「言葉の力」に対応した詳細な「言葉の力」が掲載されており、児童の自主的、自発的な学習が促されている。 ・ 単元の導入ページに「言葉の力」や「学習の流れ」が示され、「振り返り」ページには、単元導入ページの「言葉の力」に対応した詳細な「言葉の力」が掲載されており、児童の自主的、自発的な学習が促されている。 ・ 単元の導入ページに「言葉の力」や「学習の流れ」が示され、「振り返り」ページには、単元導入ページの「言葉の力」に対応した詳細な「言葉の力」が掲載されており、児童の自主的、自発的な学習が促されている。 ・ 単元の導入ページに「言葉の力」や「学習の流れ」が示され、「振り返り」ページには、単元導入ページの「言葉の力」に対応した詳細な「言葉の力」が掲載されており、児童の自主的、自発的な学習が促されている。
	(7) 他教科等との関連を図った学習活動を実施するための工夫		
	(1) 内容別配当の分量		
	(2) 教材・資料等の分量	○	・ 単元全体の分量、個々の教材の分量、写真や図表等の分量ともに適切である。 ・ デジタル教材が充実しており、二枚の導入ページと「言葉の力」(3年上P22)、作品例(4年上P85)、発声例(4年下P105)等の多くの資料を活用することができる。
	(3) 内容の配列及び進本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	○	・ 内容(「知識・技能」「話す・聞く」「書く」「読む」「調べ」)の配列は適切である。 ・ 1年から4年までは上下分冊で、持ち運びに便利である。5・6年は1冊となっており、中学校入学時の移行に配慮されている。 ・ 1年上と2年上は上下分冊で、持ち運びに便利である。5・6年は1冊となっており、中学校入学時の移行に配慮されている。 ・ 1年上と2年上は上下分冊で、持ち運びに便利である。5・6年は1冊となっており、中学校入学時の移行に配慮されている。 ・ 1年上と2年上は上下分冊で、持ち運びに便利である。5・6年は1冊となっており、中学校入学時の移行に配慮されている。
	(4) 今日的課題への配慮や各項目において配慮を必要とする事項等		

教科書の名称 発行者の番号・略称	
ひろがる言葉 小学国語 17・教出	
理由	
調査項目	評価
(1)各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見・だし、解決策を考え、学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○ ・単元ごとに「学習の進め方」(「見通しをもとよう→たしかめよう→わくわくよう→つたえあおう→ふり返ろう」など)が示されており、見通しを持って主体的に学べるよう工夫されている。 ・「見通しをもとよう」が「ここが大事」とリンクしており、児童が課題意識をもって取り組むことができる。(3年下P52) ・「つたえあおう」では考えたことを話し合う活動が設定され、対話的で深い学びにつながる構成となっている。
(2)言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	○ ・「言葉の文化」「言葉の広場」「漢字の広場」が年間を通じて設定され、例題も掲載されている。これらを活用することで、言語能力の向上につながることもできる。 ・説明文では、「くわしくよう」「まとめよう」で筆者の説明の仕方の工夫を理解するとともに、「まとめよう」で自分の考えを伝え合うなど、様々な活動とおして言語能力や論理的思考力の育成につなげている。 ・身近な内容(「リーフレットではこうこく」(4年上P58)、「ちいさの行事」(3年下P74)など)や、特微的な内容(「パネルディスカッション」(6年上P52)、「ミニディベート-AIとのくらし」(5年上P116)、「写真から読み取る」(4年上P98)など)を取り入れ、多様な言語活動が設定されている。 ・「書く」(例:6年6単元「話す・聞く」(例:6年4単元)「読む(説明文)」(例:6年3単元)活動を多く取り入れ、さらに「言葉の広場」(例:6年5か所)を配置し、言語能力や論理的思考力の育成を図る構成となっている。
(3)情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の実案を図るための工夫	
(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○ ・単元ごとに「学習の進め方」(「見通しをもとよう→たしかめよう→わくわくよう→つたえあおう→ふり返ろう」など)が示されており、学習の見通しを立てたり、学習を振り返ったりしやすいよう工夫されている。また、「ここが大事」には、その単元の学習内容の重要なポイントが示されており、学習の振り返りに役立つ。
(5)各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	
(6)児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	
(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	
2 使用上の配慮	
(1)内容別配当の分量	
(2)教材・資料等の分量	
(3)内容の配列及び造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	
3 その他	
今日の課題への配慮や各種目において調査を必要とする事項等	

教科名【 国語③ 】		教科書の名称 発行者の番号・略称
調査項目		国語 38・光村
評価		理由
①各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだし、解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・巻頭の「国語の学びを見よう」には、学習の進め方や1年間の学習内容を掲載され、関連する前半年の学習内容を振り返ることでもでき、主体的に学べるよう工夫されている。(3年下P154) ・巻頭「国語の学びを見よう」のページ上段には、問題を見いだすための問いが提示され、ページ下段には、問題解決に向けたヒントが数多く示され、児童が自ら考えを深められるよう工夫されている。(3年下P154) ・「ひらけよう」「つなげよう」では考えたり、対話したりする場面が設定され、必要分が示されている。 ・「ひらけよう」では、学習内容を振り返るための問いが示されている。(3年下P136) ・説明文の学習では、3年上から練習教材が設定されており、練習で学習したことを活用して本教材に備わることができ、問題を見出し、解決策を考える学習に向いている。(3年上P54)
②言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	◎	・巻頭に「ノートの手書き力」が掲載されており、日々のノートに自分の考えを書く習慣づくりが促されている。(6年下P4) ・説明文では、まず見聞きの練習教材を使った学習が設定され(3年上P54)、その学びを次の主教材に生かすことができよう工夫されている。 ・説明文では、「ふかめよう」「まともよう」で筆者の考えと自分の考えを比較し、「まともよう」で自分の考えを伝え合い、言語能力や論理的思考力の育成が図られるよう工夫されている。 ・身近な内容(観察カード、手紙、リーフレット、新聞づくりなど)を取り入れた言語活動が設定されており、興味を持って取り組めるよう工夫されている。 ・巻頭の「言葉の宝庫」には言語に関する豊富な知識が掲載されており(6年下P99)、児童が文章を構成する際に大変役立つ。また、「図を使って考えよう」には、文脈に読解力をもたせるために図表を活用して情報を整理する方法が紹介されるところにも文例も示されており(6年下P11)、言語能力や論理的思考力の育成に大変役立つ。
③情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫		
④学習の目標を立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・巻頭には、国語の学習でできるようなことなどを書く欄があり、巻末には、1年間でできるようなことなどを書く欄があり、1年間の学習を振り返ることができ、その成果の振り返りがポイントが示されており、学習の振り返りが促されている。 ・「国語の学びを見よう」には、学習の進め方や1年間の学習内容を掲載され(2年上P55)、1年間の振り返りをもって学べるようになっている。また、関連する前半年の学習内容を振り返り、学習内容を振り返ることができ、その成果の振り返りがポイントが示されており、学習の振り返りが促されている。 ・「国語の学びを見よう」の「まともよう」が掲載されており、1年間の学習を振り返ることができ、その成果の振り返りがポイントが示されており、学習の振り返りが促されている。
⑤各教科の特質に応じた活動活動を通じて、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫		
⑥児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫	○	・巻頭には、国語の学習でできるようなことなどを書く欄があり、巻末には、1年間でできるようなことなどを書く欄があり、1年間の学習を振り返ることができ、その成果の振り返りがポイントが示されており、学習の振り返りが促されている。 ・「国語の学びを見よう」には、学習の進め方や1年間の学習内容を掲載され(2年上P55)、1年間の振り返りをもって学べるようになっている。また、関連する前半年の学習内容を振り返り、学習内容を振り返ることができ、その成果の振り返りがポイントが示されており、学習の振り返りが促されている。 ・「国語の学びを見よう」の「まともよう」が掲載されており、1年間の学習を振り返ることができ、その成果の振り返りがポイントが示されており、学習の振り返りが促されている。
⑦他の教科等との関連を図った学習活動を実施するための工夫		
⑧内容配列の分量		
⑨教材・資料等の分量	○	・教材が豊富に配置されており、教材全体の分量は、児童が様々な活動をおこなって学習するために十分な分量となっている。個々の教材の分量、資料の分量ともに適切である。
⑩内容の配列及び巻末上の補綴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	○	・内容(「知識・技能」「話す・聞く」「書く」「読む(読解文)」)の配列は適切である。 ・1年から4年までは上下分冊で、持ち運びに便利である。5・6年は1冊となっており、中学に入るとの接続が図られている。 ・1年上と2年上は、文脈に合わせて適切な配慮を必要とする児童に配慮している。 ・文字が大きく読みやすい。また、必要に応じて文字の太さや字を大きくし、大事な所に児童の注意が向くようにしている。さらに、文字や線、図などに様々な色を添えており、どこに注目すればよいかが分かっていく。
⑪今日の課題への配慮や巻末におけるその他の		

序

書

[illegible]

社会・地图

調査実施項目		教科書の名称 発行者の番号・略称 新しい社会 2・東書	理由
1 学習指導要領に定める教科書の目標を達成するための工夫	◎		・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の表記とともにめあてが明示しており、子どもが課題意識を持ちながら学習を進められるようになっている。ドラえもんイラストの種類によって、「見方・考え方」が一目でわかるように示されている。 ・「まとめる」場面で、学習をまとめたり、自分の考えを説明・論述したりする言語活動に活用できるように、その単元に出てきた「ことばの一覧」が提示してあったり、4年「空に開かれた大地に水を引き」（P122～P123）では結晶層、6年歴史編「縄文のむらから古墳のくにへ」（P23）では新聞作成等の多様な言語活動・表現方法を用いた学習を例示する等の工夫がみられる。 ・「学習の進め方」（3年P24～P25、4年P18～P19、5年P24～P25、6年政治・国際編P12～P13）では、学習課題を設定し、児童の思考に促った学習の過程を例示するなど、問題解決的な学習の見通しが立てられるよう工夫されている。 ・3～5年の巻末に、学年の学習内容をさまざまな方法で振り返る場面が掲載されている。
2 使用上の便宜	○		・3年「農家の仕事」（P43）では算数、3年「店ではたらく人」（P77）では外国語、6年歴史編「貴族のくらし」（P89）では国語のように、他の教科とかかわりのある学習内容のページに「教科関連マーク」を示し、他の教科とかかわりのある学習内容が掲載されている。 ・5年下「SDGsについて考えてみよう」（巻末折込）、6年政治・国際編「世界の課題の解決に向けて」（P106～P107等）では、SDGsについて社会科全体を通して学びに活用できるようにになっている。 ・3年・4年は1冊、5年は上・下、6年は「歴史編」・「政治・国際編」と学年2分冊構成としており、重さに配慮されている。
3 その他	○		・「人権教育の指導方法の在り方について 第三次とりまとめ」（人権教育の指導方法に関する調査研究協議）にある「人権に関する知的理解」が、社会科においても促進されるよう、6年歴史編「今に伝わる室町文化」（P59）「人々のくらしと身分」（P82～83）、「新しい世の中の文化と生活」（P108～P109）、「まわりの国と日本」（P153）等で人権問題を、6年政治・国際編「わたしたちのくらしと日本国憲法」（P22～P23）等で平和を取りあげている。 ・4年「風水害から人々を守る」（P74～P87、千葉県千葉市の事例）、5年下「自然災害を防ぐ」（P88～P89）、6年政治・国際編「震災復興の願いを実現する政治」（P46～P54、東日本大震災・宮城県気仙沼市の事例）等で防災・安全を取り扱っている。 ・3年「市のうつりかわり」（P134～P135）では、市の発展を願うボスター作り活動、6年「国の政治のしくみと選挙」（P24～P25）では、投票するときのポイントを掲載している。 ・6年政治・国際編「つながりの深い国々」（P84～P89）では、アメリカ・中国・フランスに加え、本市で外国人住民が多いブラジルを取りあげている。 ・4年「水はどこから」（P48～P49）で水を大切にすること、5年下「わたしたちの生活と環境」（P86～P87）で世界自然遺産の事例、6年政治・国際編「世界の未来と日本の役割」（P100～P101）で世界の様々な環境問題を取り上げている。 ・4年「水はどこから」（P50～P51）、5年下「工業生産を支える運輸と貿易」（P98）では、再生可能エネルギーについて紹介している。 ・5年下「情報を生かす産業」（P66～P67）では人工知能などの紹介がされている。 ・「領土」については、5年上「世界の中の国土」（P14～P15）6年歴史編「まわりの国と日本」（P153）では、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」は日本固有の領土であることと現在の状況が記載されており、「まわりの国と日本」（P153）で「拉致問題」について記載されている。

教科名 [社会②]

◎特に優れている

○優れている

3者

2/3

教科書の名称 発行者の番号・略称	
小学社会 17・教出	
理由	
調査実施項目	評価
①他教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見し解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	- 各学年の巻頭に「社会科の学習の進め方」を掲載し、問題解決的な学習の見取り図「つかむ」「つなげる」「つなげる」「つなげる」を示すことで、学習の進め方を分かりやすく示し、主体的に解決への見通しが持てる場面構成とされている。 - 見開きの始めに「次の時間の問い」、終わりに「次の時間の問い」が掲載されており、問題解決的な学習過程を充実させることができる。
②言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	3年「火事からまらを守る」(P111)では紙面上で登場人物が、問題解決に向けて考え合い、模範をつくって表現し合う学習活動、3年「店ではたらく人と仕事」(P65)、4年「水害にそなえるまわちぐり」(P108～P109)では関係図、6年「歴史を学ぶ意味を考え、未来につなげよう」(P236～P237)では意見文等の多様な言語活動・表現方法を例示するなどの工夫がみられる。 「解説」、「キーワード」が掲載されており、学習用語の定着を図る手立てが工夫されている。
③情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	
④学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	「つかむ」ページで、学習の見通しを立てる例示がされている。 「学習の進め方」が掲載されており、学習を自ら改善しながら進めていくことができる。 - 巻頭に「前の学年をふり返ろう」(3年は生活科をふり返ろう)」、巻末に「10年生の学習をふり返ろう」を掲載されており、年間学習の見通しを持ち、学習したことを振り返ることができる。
⑤本教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を推進するための工夫	5年「自然災害とともに生きる」(P210)で「熊野川(新宮川)のはんらん」(P238)で「四日市ぜんそく」、6年「新しい文化と学問」(P163)で「本居宣長」についての記事がある。
⑥児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	6年の歴史学習のページには、AIの技術と史料などをとにカラフル化した画像が掲載されており、児童の関心と学習意欲を高める。 「社会科の学習の進め方」のページが設けられており、モデル図を参考にしながら見直しをもって主体的に追究できる。 「なんなでつくった学習問題」「この時間の問い」が例示されており、問題解決的な学習が促されている。 6年「日本の歴史」では、「歴史の学び方をナビゲーション!」(P72～P73)を設け、身近な道徳や史跡に関心に向けたり、歴史博物館を活用したりする活動場面を掲載し、歴史学習に向けて興味や関心が高められることが期待できる。 3年「スーパーマーケットの様子」(P65)や6年「縄文時代や弥生時代の様子」(P79～P80)等のような大きな知識なイラストを掲載することで、関心や疑問を引き出し、児童の自発的・主体的な学習が期待できる。
⑦他教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	- 巻頭に「他の教科などとのつながり」が掲載されており、国語、算数、理科、英語、道徳とその学年の社会との関連が分かる。 「SDGsとつなげて考えよう」のページでは、学習をSDGsの観点から振り返り、これからの地域や社会、暮らしのあり方について考えることができる。 - 防災に関するページ(3年P96～P111、4年P80～P113、5年P210～P221、6年P50～P57)が設けられており、教科の学習内容と関連させながら、防災について理解し、考えられる。
⑧内容別配当の分量	
⑨使用上の留意事項	色紙等の特性をふまえ、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすさに配慮している。
⑩内容の配列及び添付上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	「人権教育の指導方法の在り方について 第三次とりまとめ」(人権教育の指導方法に関する調査研究会)にある「人権に関する知的理解」が、社会科においても促進されるよう、6年「憲法とわたしたちの暮らし」(P20～P21)、「憲法の政治と人々の暮らし」(P144～P147)、「明治の新しい国づくり」(P177)等で、歴史的な観点から人権問題を取りあげている。 6年「ともに生きる暮らし」(P10～P13、P20～P21)、「地球規模の課題の解決と国際協力」(P284)等、人権保障について詳しく扱い、人権をめぐる課題とその解決に向けた取組を重視して取りあげている。 - 学習活動の場面では、多様な子どもたちが互いに協力し合いながら取り組む様子が描き込まれており、社会の多様性に関する配慮がされている。 5年「自然とともに生きる人々の暮らし」～「アイヌの人々」(P47、P58～P69)を取りあげ、国土の自然を生かし育まれた伝統と文化を尊重することの大切さに気づかせることが期待できる。 6年「わたしたちの暮らしを支える政治」(P34～P49)では、少子化・高齢化や人口減少、主権者としての意識を高める教育等、日本が直面する課題を取りあげている。 6年「日本とつながりの深い国々」(P254～P259)では、アメリカ・中国・サウジアラビア・韓国とともに、本市で外国人住民が多いブラジルを取りあげている。 「領土」については、5年「世界の日本の領土」(P16～P18)、6年「平和で豊かな暮らしを自覚して」(P230～P231)では、「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」は日本固有の領土であることと現在の状況や「拉致問題」について記載されている。
⑪その他	

調査実施項目	評価	教科書の名称 発行者の番号・略称 小学社会 116・日文 理由
①各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせ、教科の知識・技能を身に付け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・小單元ごとに、子ども達の疑問から学習問題を設定し、写真や資料などを用いて追究・解決して、さらに考えたい問題をはりさげる構成になっている。また、1時間の授業も見聞き1ページで、疑問から学習問題を設定し、問題を解決していく紙面構成になっている。 ・社会的な見方・考え方として「見方・考え方コーナラー」を設け、「空間」「時間」「関係」の3つの視点で、「比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりする」ことができる紙面構成となっている。
②基礎能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	◎	・「見方・考え方コーナラー」「やってみようコーナラー」「キーワード」「キーワード」「むずかしい言葉」「コラム」が設定され、社会事象を多角的に捉えたものを表現する方法が掲載され、言語活動を充実させる手立てが随所に掲載されている。 ・具体的問題や質問の読み取り方、表現の方法が明示された「学び方・調べ方コーナラー」(4年P123・P159)を設定し、資料や聞き取りを通して問題を解決し、調べたことをまとめる技能が身につく紙面構成になっている。
③情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の実施を図るための工夫	○	・教科書Webコンテンツが随所に設定され、関連の動画(3年P99・P117、5年P148)、写真資料、ワークシート、関連しているウェッブサイトへのリンクなどがあり、二次元コードから直接接続することができ、アプリケーション「すくろくxカード」を用いて、47都道府県の位置や名称、特色を差し込みながら学ぶことができる。 ・「やってみよう」コーナラーで、5年「思考ツール」(P139)「学び方・調べ方コーナラー」(P139)「学び方・調べ方コーナラー」(P139)「学び方・調べ方コーナラー」(P139)で、5年「メールでの質問のしかた」(P81)、「オンラインでのインタビューのしかた」(P84)、「デジタル新聞のつくり方」P274を取り上げ、調べ活動や表現活動でのタブレットの有効な活用が期待できる。
④学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・生活経験や資料等の児童の疑問から学習問題を考え、調べ、追究し、話し合い、ふり返りをする過程で、次の学習へ「さらに考えたい問題」へと発展させる学習過程を基本に紙面構成がされている。5年「工業生産とわたしのくらし」(P138～P143)生誕一人ひとりが探った考えを見いだす「ふり返り」の話し合いの様子をイラストで示し(3年P151、4年P98～P99、5年P132～P133)、協働的な学びが実現している「探め合い」活動が例示されている。
⑤各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	◎	・3年「だれもがかわかやさいまちづくり(津市)」(P156～P157)、5年「四日市市でおきた公害」(P268～P273)、5年「自動車工場の見学(鈴鹿市)」(P146～P157)がそれぞれ取り上げられており、本市の児童が現地に足を運ぶ機会に恵まれている。また、5年「四日市市でおきた公害」(P268～P273)等、直接訪ねて見学したり、話を聞いたりする活動を紹介している。 ・4年「地いきの伝説や文化と先人のたたらき」では「長崎くんの語り町の話」(P125)、5年「環境とわたしのくらし」で「陸羽の谷田さんの話」(P272)、6年「アジア・太平洋に広がる戦争」は、「空襲にあったおばあさんの話」(P207)等、児童が出された疑問を、話を聞くことで解決していく紙面構成に随分なっている。
⑥児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	・各学年の巻頭に「わたしたちの学びの進め方」や「社会科の学習の進め方」を掲載し、学年を通しての目通しを明確にすることで、学年を通しての学びを促している。 ・3年「工場ではたらく人びとの仕事」での「かまぼこ工場」(P48～P49)「店ではたらく人びとの仕事」での「スナック」(P49～P50)等、児童の生活に身近な業種が取り上げられている。 ・3年「スナック」の店頭のようす」(P49～P50)5年「米作り」のさかんな地帯」(P80～P81)6年「江戸の社会と文化・学習」(P146～P149)のように、写真やイラストを大きくし、原則、見聞き2ページにまとめ、学習対象の具体的な情報を視覚的に捉えやすくすることで、児童の主体的な学習が期待できる。
⑦他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	◎	・自分と歴史との関わりが考えられるよう、「豊田通史先生の歴史ノート」(P162～P163)を掲載し、興味・関心を持って学習できるような工夫がされている。 ・3年「わたしたちのすんでのん」(P16)では、生活科の学習を想起できるような内容になっている。 ・国語科の「話すこと・書くこと」に示された表現活動を例示し、見方・考え方の内容をまとめ、児童の生活に身近な業種が取り上げられている。 ・5年「わたしたちのすんでのん」(P16)では、生活科の学習を想起できるような内容になっている。 ・国語科の「話すこと・書くこと」に示された表現活動を例示し、見方・考え方の内容をまとめ、児童の生活に身近な業種が取り上げられている。 ・5年「わたしたちのすんでのん」(P16)では、生活科の学習を想起できるような内容になっている。 ・国語科の「話すこと・書くこと」に示された表現活動を例示し、見方・考え方の内容をまとめ、児童の生活に身近な業種が取り上げられている。
⑧内容別配当の分量		
⑨教科書・資料等の分量		
⑩内容の配当が適量以上の特長、特別な配慮を必要とする内容等への配慮、編集上の工夫等	○	・本文にユニバーサルデザインフォントを採用し、フォントサイズを大きくして読みやすくしている。 ・巻末に「SDGsの目標シール」をつけ、学習内容とSDGsの関連が考えられるようになっている。
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫		
2 使用上の便宜		
3 その他		

教科書の名称 発行者の番号・略称		新しい地図帳 2・東書		楽しく学ぶ 小学生の地図帳 46・帝国	
評価	理由	評価	理由	評価	理由
◎	①「日本の歴史 世界とのつながり」(P77～P80)の資料図では、世界的な視点を持ちながら、日本の歴史について学習を深めることができる。	◎	・「江戸時代の結びつき」(P55～56)では、歴史学習との関連を図り、地理的な空間の広がりと歴史事象を結びつけることで深い学びにつなげることができる。		
○	②言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫				
○	③情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	・「地図ってなんだろう」(P9)の二次元コードを読み取る、小学校のまわりのようすについてのアニメーションやドローン映像を知覚することができる。なかでもVR画像は端末を動かしながら、地図帳の学校のまわり360°の景色を確認することができるので、児童の関心を高めることが期待できる。		
	④学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・「3年生の学習」(P7～P16)では、導入や見出しを設けて社会科教科書と同じスタイルなので学習のポイントが分かりやすくなっている。また、同じ項目順の内容が掲載されており、学習しやすい工夫がされている。		
○	⑤各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	◎	・「中部地方南部」(P59)にある三重県の部分には、地域の特産物である米のイラストと米畑の広がりやのりが地図上に分かりやすく示されている。四日市公事と桑名未来館や富田歴史博物館などの資料館も記載があり、児童の関心を高める活用が期待できる。		
◎	⑥児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	○	・地図帳の導入部分にある「トライ！」や、各ページに用意された100問の「地図マスタ―への道」では、児童が自主学習を進めながら、地図活用のスキルや社会科の知識を身につけ、社会的な見方・考え方を備わせる学びにつながるということが期待できる。		
	⑦他の教科等との関連を図った学習活動を実施するための工夫	○	・「地図で世界発見！」(P1～P3)では、外国語活動・外国語科との関連が図られるよう英単語で国名等を表すとともに、11の国の言葉でこんにもの言ひ方と民族衣装のイラストが紹介され、キムトラやターナーのスペロウ先生が3年生から始まる外国語活動でも地図帳を使ってみようと呼びかけ、二次元コードで外国語のあいさつや英語の紹介を聞くことができる。		
	⑧内容別配当の分量	○	・初めて地図帳を手にする3年生のために、(P1～P30)を3年生向けにしている。(P31～P30)は「広く見わたる地図」として160万分の1の日本地図(各地方別)が記載され、各産品や観光地などの大きなイラストや精選された道路や鉄道など見やすく分かれている。		
	⑨教材・資料等の分量				
	⑩内容の配列及び活本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等				
3	その他の事項等	◎	・「日本の自然災害と防災」(P99～P102)では、日本でも起こる自然災害の事例と防災への取り組みを掲載し、主体的に防災意識を高めることが期待できる。 ・(P125～P126)に持続可能な開発目標(SDGs)を掲載することともに、(P70、P101、P102、P106、P108)にもSDGsに関連する資料を掲載しており、持続可能な社会の実現を旨とする視点を養うことができる。		

算 数

[illegible]

教科書の名称 発行者の番号・名称					
調査項目	小学算数 17・教出	理由	評価	わくわく算数 81・意味値	理由
	評価				
①年教科書の特長に合った教材、考え方を集めながら、問題を思いだし、解決を考へる学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○ 問題発見力・解決力・追求力を育てる問題がなされている。 ・学習過程の特色がわかり、おもしろいことを伝え合ひ、学級で話し合っている。問題解決していくことを意識できる。(5年P7~)	○ ・「はてな？」のよさとして本時の課題を解決するためポイントが書かれていて、考えるポイントが子どもたちにとってわかりやすい。(2上P93)	○ ・巻頭では、「算数で使いたい考えの進め方」として「図・漢字・算式・単位・結合・算盤」の6項目(2・3年は4項目)にまとめ、既習事項を例に具体的に紹介している。(3上P8)	○ ・「自分でみんなん」という表裏での学習場面を通して画面構成が各学年2〜4か所で行われている。また、各ページの左右端に着目すべき点、振り返りなどが示されている。(6年P93) ・2年生以上に、問題解決型の学習過程を「学び方の4つのステップ」として整理し巻頭に掲載している。(6年P2)	○ ・「自分でみんなん」という表裏での学習場面を通して画面構成が各学年2〜4か所で行われている。また、各ページの左右端に着目すべき点、振り返りなどが示されている。(6年P93) ・2年生以上に、問題解決型の学習過程を「学び方の4つのステップ」として整理し巻頭に掲載している。(6年P2)
②算数能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	○ ・「はてな？」のよさとして本時の課題を解決するためポイントが書かれていて、考えるポイントが子どもたちにとってわかりやすい。(2上P93)	○ ・「はてな？」のよさとして本時の課題を解決するためポイントが書かれていて、考えるポイントが子どもたちにとってわかりやすい。(2上P93)	○ ・2年生以上の巻頭の巻頭では、「算数で使う言葉」という項目で、類型が示される語彙紹介がされている。「次に」「次に」といった質問語句に欠けたら、その後に「次に」とあるように、このように単位が設定されている。算数の正解を通じて、問題解決の過程がわかるよう、図や表の書き方が系統的に盛り上げられている。(2上P16)	○ ・2年生以上の巻頭の巻頭では、「算数で使う言葉」という項目で、類型が示される語彙紹介がされている。「次に」「次に」といった質問語句に欠けたら、その後に「次に」とあるように、このように単位が設定されている。算数の正解を通じて、問題解決の過程がわかるよう、図や表の書き方が系統的に盛り上げられている。(2上P16)	○ ・2年生以上の巻頭の巻頭では、「算数で使う言葉」という項目で、類型が示される語彙紹介がされている。「次に」「次に」といった質問語句に欠けたら、その後に「次に」とあるように、このように単位が設定されている。算数の正解を通じて、問題解決の過程がわかるよう、図や表の書き方が系統的に盛り上げられている。(2上P16)
③情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○ デジタル教材はスライド機能がついており、練習問題が表紙に書き込める仕掛けになっている。 ・アニメーション機能があり、試行錯誤的な操作が可能。(5年P205) ・独自開発のプログラミング教材や算数ソフトがあり、プログラミング的思考を育てたり、情報活用能力を育てることができる。(5年P234 2年P145)	○ デジタル教材はスライド機能がついており、練習問題が表紙に書き込める仕掛けになっている。 ・アニメーション機能があり、試行錯誤的な操作が可能。(5年P205) ・独自開発のプログラミング教材や算数ソフトがあり、プログラミング的思考を育てたり、情報活用能力を育てることができる。(5年P234 2年P145)	○ 二次元コードの上に「ぼうだつたをかこう」とタイトルが明示されているので、使うタイミングが分かりやすい。 ・「動かす」「解説動画」「動画」「問題」「スライド」といったように、いくつかのコンテンツに分かれており、デジタルコンテンツが1614冊にわたって提供されている。 ・家々デジタルツールがあり、タブレット上で、入力力、円グラフ、棒グラフを児童が作成できる。(5年P205)	○ 二次元コードの上に「ぼうだつたをかこう」とタイトルが明示されているので、使うタイミングが分かりやすい。 ・「動かす」「解説動画」「動画」「問題」「スライド」といったように、いくつかのコンテンツに分かれており、デジタルコンテンツが1614冊にわたって提供されている。 ・家々デジタルツールがあり、タブレット上で、入力力、円グラフ、棒グラフを児童が作成できる。(5年P205)	○ 二次元コードの上に「ぼうだつたをかこう」とタイトルが明示されているので、使うタイミングが分かりやすい。 ・「動かす」「解説動画」「動画」「問題」「スライド」といったように、いくつかのコンテンツに分かれており、デジタルコンテンツが1614冊にわたって提供されている。 ・家々デジタルツールがあり、タブレット上で、入力力、円グラフ、棒グラフを児童が作成できる。(5年P205)
④学習の見通しを立てたり、学習したこと振り返りするための工夫	○ 各単元の「友だちのノートを見てみよう」では、ノートのどの場所にも何を書けばいいかが明記されており、わかりやすい。	○ 各単元の「友だちのノートを見てみよう」では、ノートのどの場所にも何を書けばいいかが明記されており、わかりやすい。	○ 基本単元では、すべての単元に「これから学習することのめあて」が提示され、各時間ごとの「めあて」や「まどめ」も明示されている。 ・問題と出てきたときの児童の問いや返事を「まどめ」として添削し、「めあて」とそれに対する「まどめ」といった流れがある。	○ 基本単元では、すべての単元に「これから学習することのめあて」が提示され、各時間ごとの「めあて」や「まどめ」も明示されている。 ・問題と出てきたときの児童の問いや返事を「まどめ」として添削し、「めあて」とそれに対する「まどめ」といった流れがある。	○ 基本単元では、すべての単元に「これから学習することのめあて」が提示され、各時間ごとの「めあて」や「まどめ」も明示されている。 ・問題と出てきたときの児童の問いや返事を「まどめ」として添削し、「めあて」とそれに対する「まどめ」といった流れがある。
⑤年教科書の特長に基づいた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○ 子どもたちによってより身近な課題を設定されているので、子どもたちは実生活と算数をつなげて考えていることができる。(2年P48、P62 4上P25 など)	○ 子どもたちによってより身近な課題を設定されているので、子どもたちは実生活と算数をつなげて考えていることができる。(2年P48、P62 4上P25 など)	○ 学期末や学年末には、「算カ・算マをまとめてみよう」といった道徳的表示が設定されている。算数で学んだことを使って、生活や学習に活用する力を養成する。(6年P124)	○ 学期末や学年末には、「算カ・算マをまとめてみよう」といった道徳的表示が設定されている。算数で学んだことを使って、生活や学習に活用する力を養成する。(6年P124)	○ 学期末や学年末には、「算カ・算マをまとめてみよう」といった道徳的表示が設定されている。算数で学んだことを使って、生活や学習に活用する力を養成する。(6年P124)
⑥児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫	○ 巻頭の二次元コードから「算数アニメ」を観ることができ、算数に興味をもったり、学習の楽しさをもちやすくなる。また、算数について興味をもったり、学習の楽しさをもちやすくなる。また、算数について興味をもったり、学習の楽しさをもちやすくなる。	○ 巻頭の二次元コードから「算数アニメ」を観ることができ、算数に興味をもったり、学習の楽しさをもちやすくなる。また、算数について興味をもったり、学習の楽しさをもちやすくなる。また、算数について興味をもったり、学習の楽しさをもちやすくなる。	○ 様々な図形で算数が活用されていることを伝えている。6年生の巻頭「未来への挑戦」では、デザイン系や建築系をはじめ、様々な職業の方向性を紹介し、キャリア教育につなげている。	○ 様々な図形で算数が活用されていることを伝えている。6年生の巻頭「未来への挑戦」では、デザイン系や建築系をはじめ、様々な職業の方向性を紹介し、キャリア教育につなげている。	○ 様々な図形で算数が活用されていることを伝えている。6年生の巻頭「未来への挑戦」では、デザイン系や建築系をはじめ、様々な職業の方向性を紹介し、キャリア教育につなげている。
⑦他の教科書等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○ 6年生の「数学へのたびら」では、中学校での学習への関心をもてるようにしている。	○ 6年生の「数学へのたびら」では、中学校での学習への関心をもてるようにしている。			
⑧内容配当の分量					
⑨教材・資料等の分量					
⑩内容の配列及び基本的な特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮上の工夫等	○ ・カラーユニバーサルデザインで第3者の視覚を受け持っている。 ・「カラフルな色使い」で第3者の視覚を受け持っている。	○ ・カラーユニバーサルデザインで第3者の視覚を受け持っている。 ・「カラフルな色使い」で第3者の視覚を受け持っている。	○ ・1年生の「けあ」とは「く」がA4版の書き込み用紙になっており、教師、児童共に使いやすい。教科書は、マスが大きいので書きやすい。ポスターサイズになっているので、プロジェクターなどは簡単に投影できる。教科書の切り取り際には、適度に対応して丈夫な厚紙やプラスチック素材などが使用されている。(4上P145、5上P145、5上P145)	○ ・1年生の「けあ」とは「く」がA4版の書き込み用紙になっており、教師、児童共に使いやすい。教科書は、マスが大きいので書きやすい。ポスターサイズになっているので、プロジェクターなどは簡単に投影できる。教科書の切り取り際には、適度に対応して丈夫な厚紙やプラスチック素材などが使用されている。(4上P145、5上P145、5上P145)	○ ・1年生の「けあ」とは「く」がA4版の書き込み用紙になっており、教師、児童共に使いやすい。教科書は、マスが大きいので書きやすい。ポスターサイズになっているので、プロジェクターなどは簡単に投影できる。教科書の切り取り際には、適度に対応して丈夫な厚紙やプラスチック素材などが使用されている。(4上P145、5上P145、5上P145)
⑪今日の課題への対応や後継目における調査を必要とする事項等	○ 学力調査をふまえて、つまづきが見られる問題などを分析し、毎日の授業に生かせるようになっている。 ・一年生の1ページ目に保育所や幼稚園を振り返る学習が掲載されている。	○ 学力調査をふまえて、つまづきが見られる問題などを分析し、毎日の授業に生かせるようになっている。 ・一年生の1ページ目に保育所や幼稚園を振り返る学習が掲載されている。			

理科

教科書の名称 発行者の番号・略称				
新編 新しい理科 2・東書				
新編 たのしい理科 4・大日本				
調査項目	評価	理由	評価	理由
1) 本教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・導入および問題解決の場面で「見方・考え方」のポイントを明確に示し、児童に意識させることによって、深い学びの実現につながるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツの「話し合いの例」によって話し合いの流れを示し、主体的・対話的な学習につながる一助となるよう工夫されている。	○	・話し合い場面が各活動ごとに設けられ、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。
2) 言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	○	・東京米の「たしかめよう」では、文章で説明させる問題が多く設定されており、論理的思考力や表現力等の育成を図ることができると工夫されている。 ・話し合いの例やノートのとめ方等を示すことで、誰もが取り組みやすくし、言語活動が充実するよう工夫されている。 ・各単元の巻末には身近なプログラミング活用事例が紹介され、二次元コードで読み取ってプログラミングを体験することができ、論理的思考力の育成に役立てられるよう工夫されている。	○	・説明場面が各活動ごとに設定されており、効果的に言語能力を育成することができると工夫されている。 ・英語・話し合いの仕方やノートの書き方などを示し、理科の言語能力が向上するよう工夫されている。
3) 情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・二次元コードを載せることで、動画（学習つき）や話し合いの例などを活用し、デジタルコンテンツと学習内容を結びつけて活用することができると工夫されている。 ・ICTを活用した効果的な学習を進めることができると工夫されている。	◎	・プログラミングの内容が充実しており、タブレット上でさまざまなプログラミングを作ることができると工夫されている。 ・二次元コードを載せることで、関連したWebサイトを関連することができると工夫されている。
4) 学習の進捗しそなえたり、学習したことを振り返り定たりするための工夫	○	・導入導入前の「レッツトライ!!」で学習の流れをつかみ、見直しをもつ活動に取り組むことができるよう工夫されている。	○	・よりかきえりの進捗が明示されており、効果的に振り返りを行うことができると工夫されている。 ・再示ごとに、どのような力がつかうか示されている。
5) 本教科の特質に合った体験活動や探究活動の充実を図るための工夫	○	・「理科の世界 探検隊」のコーナーでは、学習内容と日常生活（社会）の関わりが強調されており、理科の学びを深め、活用性を高めることができるよう工夫されている。	○	・各種資料や活動など学習内容が、日常生活とつながるよう工夫されている。
6) 児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫	○	・「理科の世界 探検隊」のコーナーでは、学習内容と日常生活（社会）の関わりが強調されており、理科の学びを深め、活用性を高めることができるよう工夫されている。	○	・よりかきえりの進捗が明示されており、効果的に振り返りを行うことができると工夫されている。 ・再示ごとに、どのような力がつかうか示されている。
7) 他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・「理科の世界 探検隊」のコーナーでは、学習内容と日常生活（社会）の関わりが強調されており、理科の学びを深め、活用性を高めることができるよう工夫されている。	○	・よりかきえりの進捗が明示されており、効果的に振り返りを行うことができると工夫されている。 ・再示ごとに、どのような力がつかうか示されている。
8) 内容別配当の分量	5年 物質・エネルギー：28% 生命・地球：57%		5年 物質・エネルギー：28% 生命・地球：57%	
9) 教材・資料等の分量	◎	・デジタル教材が多く、充実している。 ・資料の写真が分かりやすい。	○	・ノートのとめ方の例が多い。 ・使いやすさなどを確保しながら重量を抑え、身体的な負担の軽減に配慮されている。
10) 内容の配列及び巻末上の特徴、特別の配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	◎	・二次元コードを載せることで、動画を視聴したり、話し合いやノートの書き方を参考にしたたり、ワークシートに記入したりするなど様々な活用が可能で、不登校児童や学習活動が苦手な児童等も学習を進めることができるよう配慮されている。 ・ユニバーサルデザイン事件で読みやすいよう、漢字に振り仮名が多く、特に困難のある児童が主体的に学習できるように配慮されている。 ・A4版、ユニバーサルデザインソフト、文面改行、端入導入と「ま」と「め」では、全ての漢字に振り仮名がある。	○	・実験器具の使い方を動画で確認することができ、視覚的に理解し、主体的に実験に取り組めるよう工夫されている。 ・季節を配慮した単元の配置となっている。 ・4版、ユニバーサルデザインソフト。
11) 今日的課題への配慮や各項目において調査を必要とする事項等	○		○	

教科名〔 理科② 〕

調査項目		調査項目	理由	評価	理由
1 学習指導要領に示す学習目標の達成のための工夫		未来をひらく 小学理科 17・教出			わくわく理科 61・添付様
① 学習指導要領に示す学習目標の達成のための工夫	(1) 各教科の特質に応じた見方・考え方を養うための工夫	理科の学びをつくる意義が強調されており、学習内容を考える、伝えることや学習を進めることができるよう工夫されている。 ・主な装置が他者と話し合いながら学びを進める過程を提示することにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	◎	・児童が主体的に見方・考え方を働かせられるよう、吹き出しのセリフに「見方・考え方カード」を引く。 ・児童の「見方・考え方のカード」が提示されている。 ・問題から結論まで、対話の過程を多く取り入れ、主体的・対話的で深い学びになるよう工夫されている。
	(2) 基礎能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	各学年の巻頭において図解の学習を生かした理科の学びを明示し、質疑活動の充実を図るよう工夫されている。	○	◎	・巻頭の「活用しよう」に、文章で説明させる問題があり、論理的思考や質疑能力の育成を図るよう工夫されている。 ・巻頭の「なり返ろう」として、理科の基礎能力が向上するよう工夫されている。 ・各学年ともに「基礎能力」を育成するための工夫が盛り込まれ、二次元コードを提示することにより、段階的に論理的思考力を育成できるよう工夫されている。
	(3) 情報活用能力の育成に向け、ICTを応用した学習活動の充実を図るための工夫	・教科で導入しているプログラミング機器が豊富であり、学習をすすめる。 ・教科で導入しているプログラミング機器が豊富であり、学習をすすめる。	○	◎	・ICT機器の活用に関連した活動は「ICTマーク」を示すとともに利用例を紹介し、活用を促す配慮がなされている。 ・6年生では、プログラミングとコミュニケーションを用いて日常生活における電気の無駄をなくす工夫を体験している。 ・プログラミング的思考を育成するための工夫が盛り込まれている。 ・二次元コードを提示することにより、段階的に学習を進め、思考力・判断力を育つよう工夫されている。
	(4) 学習の進捗を促すための工夫	・学習後、学習後の考えの比較が促されており、学習内容をよりかきやすい。 ・振り返りのページが分かれており、学習の進捗を促している。	○	◎	・問題解決のための道筋を「学びのライン」でつないで視覚化し、見直しを促すよう工夫されている。 ・単元ごとの「まとめノート」で要点をよりかきやすいよう工夫されている。 ・「スマート解説」で理解に合わせた解説動画を提示し、個別学習に活用できるよう工夫されている。
	(5) 各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を促進するための工夫	・各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を促進するための工夫	○	◎	・「くらしとリンク」では、学習した内容が日常の中で生かされている事例を紹介している。 ・教科となる植物を栽培するうえで、都市の環境にも適合している。
2 使用上の留意点					
② 使用上の留意点	(1) 教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	・他教科、他学年とのつながりや、今までの学習したことが分かっていくよう工夫されている。	○		・都市や県内各市の地形等の写真が使用されており、児童が親しみを感じ興味を抱くきっかけにすることができ、 ・「理科の広場」では発展的な内容が、「くらしとリンク」では学習内容と生活をつなぐ内容が多く掲載されている。 ・都市や県内、近隣の写真を掲載することにより、児童が身近に感じることができ、 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。
	(2) 教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	・教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○		・都市や県内各市の地形等の写真が使用されており、児童が親しみを感じ興味を抱くきっかけにすることができ、 ・「理科の広場」では発展的な内容が、「くらしとリンク」では学習内容と生活をつなぐ内容が多く掲載されている。 ・都市や県内、近隣の写真を掲載することにより、児童が身近に感じることができ、 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。
	(3) 教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	・教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○		・都市や県内各市の地形等の写真が使用されており、児童が親しみを感じ興味を抱くきっかけにすることができ、 ・「理科の広場」では発展的な内容が、「くらしとリンク」では学習内容と生活をつなぐ内容が多く掲載されている。 ・都市や県内、近隣の写真を掲載することにより、児童が身近に感じることができ、 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。
	(4) 教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	・教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○		・都市や県内各市の地形等の写真が使用されており、児童が親しみを感じ興味を抱くきっかけにすることができ、 ・「理科の広場」では発展的な内容が、「くらしとリンク」では学習内容と生活をつなぐ内容が多く掲載されている。 ・都市や県内、近隣の写真を掲載することにより、児童が身近に感じることができ、 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。 ・発展的な内容でも分かっていくよう工夫されている。

生活

教科書の名称 発行者の番号・略称						
新編 新しい生活 2・東書		新編 なのしいせいけい 4・大日本		みんなとまなぶ しょうがっこう せいけい 11・学図		
調査項目	評価	理由	評価	理由	評価	理由
①各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見し、解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・「かんざつずかん」では、「カードの書き方」「観察のしかた」「足つづき」「はさみ」などの観察のポイントが記載されており、児童が変化に気づきながら学ぶことが期待される。(LP34～35)	○	・「まなびかたあひじん かんざつめいじん」から学びの要点がはつきりする。(LP40)	○	・「ものしりのうと」「もつとみつけたいたまたまなひ」などでさらに探求することを促している。(LP24、P40、P46、P54他)
②言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	○	・あいさつ・きもちをつたえる・まとめ方・伝え方のページから言語能力を高めることができる。(LP116～P117、LP118)・話し合うときの顔の例が紹介されている。(LP19、P27)	○	・質問をするときの例文が分かりやすく書かれている。(LP25、P27)・「せいけい」ことば・きらきらことばでは、相手のほめることばなどの例が紹介されている。(LP7、P53、P57、P55、P104)	○	・「はなす」「きく」「かく」のポイントが示されている。(LP129～P132)
③情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	・デジタル紙芝居・デジタルで書き方する方法が紹介されている。(LP98、P101、LP71、P78)・二次元コードが活用され、イラスト上の気になるところを選択すると、より分かりやすい説明がある。(LP40)	○	・二次元コードが各単元に記載されている。(LP24、P28、P53、P126、P35、P104)	○	・二次元コードが各単元に記載されている。
④学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	・どのページも「へんな」と活動のめあてを表していることで、学習の見通しを待つことができる。 ・かんざつカードの書き方の例が大きくてわかりやすい。(LP34)	○	・各単元で「きもちマーク」を記入できるようにしており、ひらがなを学ばず前からふり返りを記載できる工夫がされている。(LP17、P31他)		
⑤生活教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・「いその人にも話してみよう」というコーナーがあり、家庭でも学習した内容を生かそうと促している。(LP21、P31、P33、P37、P29他)	○	・保護者に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を二次元コードで提示している。(LP2)		
⑥児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・漢字、言葉、つづきのページを重ねると分かる仕組みが興味を引く。(LP28、P30、P32、P36、P41、P13、P17)				
⑦他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・他教科と関連した活動として、どの教科と関連しているのか、教科名も記載されている。(LP15、P51)	○	・「はってん」として世界の国のあいさつや食べ物、じゃんげんの仕方など外国活動につながる記載がある。(LP12)		
⑧内容配当の分量						
⑨教材・資料等の分量						・サイズが小さく、1年生の子どもの手になじみやすい。
⑩内容の配列及び活字上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	◎	・目に優しい色使いがされている。わかりやすいイラストを使用している。などの工夫がされている。(LP16、P54他)・DPフォントが使用されている。			○	・目次は「何月に何を学ぶか」が明確にされている。
⑪その他の	◎	・仕事の分担では、きょうだい・父・祖父が登場し、ジェンダーにとらわれない配慮がされている。(LP28)・スタートカードがキャラクターが充実した内容となっている。(LP1)	○	・「町のキラリ」を見つければ、町のキラリをひろげたい! など、地域を好きになる仕掛けと工夫がある。(LP28、P58、P44)・「はってん」として、SDGsについて学び、調査について考える工夫がされている。(LP48～P51)		

1. 学習指導要領に定める教科書の目標を達成するための工夫

2. 使用上の便宜

3. その他

	調査項目	評価	理由	評価	理由	コメント	理由
①	各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見し、解決策を考へる学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	左ページ上に「読解する」と効果的な力が提示されており、教師も子どもも学習のめあてを明確化しやすい。 (LP12, P14, P16, TP6, P8, P10他) 「?」で子どもに具体的な問いを投げかけており、気づきの質を高めることができる。(LP15, P16, P19他)	◎	「ヒント」を出すのではなく、自分たちで考え、振り返る力を促す工夫(どうすればもっとうまくできるだろう・どうすればよりよくわかるだろう)などの実行目標のポイントが示されている。(LP22, P48, P78, F718, P36他)	「導入(わくわく)」・主活動(いきいき)・振り返り(ぐんぐん)に分けられており、学習の流れが分かります。 「わたしのなにかをさがせよう」では、種・草・つぼみ・花がベージュ色に変化する様子やかわかる言葉が掲載されています。 P28, P30「見つける」「比べる」「例える」などの「まなびのひもと」が掲載されたりしており、(LP25, P27)児童が変化に気づきながら学ぶ効果が大きいと期待できる。	わくわく せいかつ いきいき ぐんぐん 61・習性類
②	言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	◎	各ページの「ヒント」のコーナーに多様な学習活動が提示されている。学習活動の図表を用いることが期待でき、子どもたちが今後、学び方を身に付けていくうえ効果的である。(LP27, P67, TP13他)	◎	「気をつける事項(おんげん・けんこう・どうぐ・ちかつかない)」は二次元コード付きになっている。(LP46, P71他)	「見つける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」など、子どもたちが身につけたことを上向きに導くための多様な学習活動の例が示されている。(LP74, P75, TP21, P78, P86, P87) ・言葉・絵・動作・劇化・ICTの活用など多様な表現活動・書画活動が設定されている。	
③	情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	二次元コードが各単元に記載されている。	◎	「気をつける事項(おんげん・けんこう・どうぐ・ちかつかない)」は二次元コード付きになっている。(LP46, P71他)	二次元コードが各単元に記載されており、資料の内容がわかりやすくまとめられている。 ・早い時期から、タブレット端末を活用する活動例が示されている。(LP13, P39, P43)	
④	学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	各単元のゴール(子どもたちにどんな力をつけるか、何ができるようになるか、どんな姿をめざすか)が明確で分かりやすくなっている。 (LP78, F786, P86)	◎	目次がすぐ後ろの風になっっており、子どもたちにも学習の流れがよくわかる。 ・子どもたちが感情をふりかえれることを大切にしている。(LP45, P47, TP19, P21) 「楽しいまいにちに近づけるよう」には、『学習が終わればはばかり』ではなく、生活を豊かにするヒントが子どもたちに示されている。	「できるかな できたかな?」では、振り返りの視点を整理することができ、(LP13, P33他) ・席元の振り返りだけでなく、夏休み前、冬休み前にも振り返りをし、自分の成長に気づかせると工夫がされている。	
⑤	各教科の特質に応じた身体活動を意識し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫					保護者向けの説明が多く示されており、二次元コードで幼児期の学びの育ちの大切さや生活科の学習内容を解説することができるようになっていいる。 「おうちでもっとせいかわく」のワークシートが二次元コードで読み取れるようになっており、家庭でも一緒に取り組める工夫がされている。	
⑥	児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫	◎	「わくわくすいっち」で、自分がどのように学んでいくとよいかを考えられるようになっている。(LP65, P85, TP20他) 同じ動向の絵から季節の移り変わりがわかるように提示されており、子どもたちが興味を持ってその違いを見出しようとする意欲を引き出す工夫がされている。(LP42, P66, P720, P722他)	○	・東元の切り替えがよくわかる工夫がされている。(LP67, P68, TP24他)	「すたあとぶつく」は、保育園や幼稚園等における幼児期の学びをいかした内容となっている。また、入学したばかりの子どもたちにも学校生活をイメージしやすいよう工夫がされている。 ・さまざまな考え方、伝え方の例があり、子どもたちが自分らしく表現する手法を選択することができる。 ・「びっくりくんLIVE」で発展的な学習が期待できる。	
⑦	他の教科等との関連を図った学習活動を実施するための工夫	◎	「学びのポケット」で、他の教科(理科・社会)との関連を位置づけられており、生活科を中心としたカリキュラム作成の参考になりやすい。			・他教科と関連した活動があり、また、どの教科と関連しているのか、教科名も記載されている。(LP31, P60, P61)生活科を中心としたカリキュラム作成の参考にしやすい。	
⑧	内容配当の分量						
⑨	教材・資料等の分量						
⑩	内容の配列及び進木上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮感	○	目次は、「何月に何を学ぶか」が明確であり、保護者向けにも生活科の学習目標を記している。(LP2, TP2)			・教科書のデザインが一回り小さくなっており、手になじみやすく軽い。	
⑪	編集上の工夫等	○				・目次が学習内容と並列して項目別に分けられているため、確認が容易である。	
⑫	今日的課題への対応や各項目において調査を必要とする事項等	◎	・教室内の多様性と自分らしさを可視化してある。(LP10, P13, TP27, P46) ・SDGsへの対応がされている。持続可能な社会に向けて自分にできることに気付かせることができる。(TP50, P72, P122)	○	・「ほつとするとコーナー」「ひともしがっていいよ」「しっぱいもあるよ」「自分らしき」といった子どもたちに「自分を大切にすること大切」を伝えるメッセージがあらゆるところにちりばめられている。(TP60他)	・SDGsへの対応がされている。「ほつとてん」として環境の保全を考えたり、自分に何が出来るか考えることができるようになっている。(下P14) ・スタートカードにキリウムと5年生への接線を図るペーパー・集計欄の学びの重要性を認識しやすいものとなっている。	

樂

音

調査実施項目		教科書の名称 発行者の番号・略称
評価		音楽のおくりもの 17・秋出
理由		
① 各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見・解決し、主体的・対話的に学びの成果に向けた工夫	◎	・見聞きに学習のねらいと、学びの進め方のヒントとなる「まなびナビ」が示され、児童が見通しをもって主体的に学んだり、学習を深めたりできるように配慮されている。 ・3年生から「学習の進め方」の欄があり、年々増えるようになっている。また、各学年は「まなびナビ」で学習の進め方を示している。 ・「音楽を形づくっている要素」を「音楽の要素」として示されており、その要素を基に学習を進めたり、学習を深めたりしている。 ・「まなびナビ」で「学び合う音楽」として具体的な活動を示すことで、児童が見通しをもたせ、主体的に学んだり、学習を深めたりできるように工夫されている。 ・音楽づくりには各学年に「音のスケッチ」が掲載されており、音をつなげて旋律をつくり出したり、いろいろな声で音楽をつくり出したりするなど、思いや考えを出し合いながら活動ができるようになっている。 ・多くの大学教員が編集・作成に関わり、音楽の深い学びの実現に向けた内容構成・見やすさになっている。
② 言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	◎	・聴き取ったことや感じ取ったことなどを言葉で表現するヒントとなるように、2年生以上の巻末に「音楽を基とするいろいろな音楽」が掲載され、音楽活動が充実するよう工夫されている。
③ 情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	・「まなびナビ」のマークが示され、学習に対応した動画等の資料を活用して、旋律の動きを体験したり、楽器の演奏の仕方を視覚的に示して、児童の興味・関心に合わせて主体的に学習できるように配慮されている。 ・「まなびナビ」により、解説動画や資料がWeb上で活用した学びの工夫を感じた。
④ 学習の見通しを立て、学習すること、振り返り、振り返りを行うための工夫	◎	・「学習マップ」を巻頭に掲載し、学年を通しての見通しを示したり、見聞きごとの学習のめあて、関心ごとの学習の見通しを示したりして、学習の見通しが持ちやすいように配慮されている。 ・児童が興味を持つようになり、関心する以前からの学習の振り返りができるように工夫されている。 ・「音楽の要素」では、何に重点をおいて学習するのかがわかるようになっている。また、振り返りを行うことができる。 ・「学習マップ」が写真と大きく見出し、見やすく作られている。教科書最後のほうでは、振り返り資料が多くあり工夫がされている。
⑤ 各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・6年生の「心をつなぐ音楽」では、音楽を通して人とつながる楽しさを伝える工夫がされている。 ・音楽ハローモニカやユーチューブの導入が分かりやすく丁寧な説明があり、家庭学習においても「まなびナビ」や巻末の「リコーダー選曲集」で自分で確認しながら学べるよう配慮されている。
⑥ 児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・1年生の音楽づくりでは、息遣いから音を想像させるとともに、はじめの音の利き手から選ばれる、誰が作ったものも無理なくシンパルに旋律を作ることができる工夫がされている。また、友だちとつなげて演奏すること、みんなで音楽をつくり出す活動が盛り込まれている。 ・「まなびナビ」で「音のスケッチ」で児童が想像して作ったり、実際に作ったりする活動が盛り込まれている。 ・「まなびナビ」で「音のスケッチ」で児童が想像して作ったり、実際に作ったりする活動が盛り込まれている。 ・各学年とも写真と大きく見出し、見やすく作られている。教科書最後のほうでは、振り返り資料が多くあり工夫がされている。
⑦ 他教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	◎	・音楽部分に「Short Time Learning」として英語の歌を取りあげること、外国語科・外国語活動との関連を図り、英語に親しむことができるように工夫されている。 ・5年生「いろいろな声で音楽をつくる」では、時の中での音楽から受ける印象や音楽を作る活動が関連づけられている。 ・2年生では「九九」・3年生では「単位」を歌にした曲が掲載され、算数科・理科と関連させて朝の学習等、短時間学習で歌えるよう工夫されている。 ・音楽の歴史的背景・文化についても学ぶことができる。
⑧ 内容別担当の分量	◎	・1年生の導入及び「うたつてごう」について、児童が幼児期に経験したと思われる歌やわらべ歌等、スタートがカリキュラムに親しむ教材が多数配置されている。 ・音楽部分の教材と巻末の「音楽ランド」の選択可能な教材を組み合わせて、各校の実態やカリキュラムに柔軟に対応でき、カリキュラムマネジメントを行うための配慮がなされている。 ・各学年ごとの基礎や基本の学びを身につけるため、文字とイラスト、写真のパラメータを見やすく配慮されている。
⑨ 教材・資料等の分量	◎	・文書が適切な分量で構成されているため児童に分かりやすく、写真やイラストも児童が見やすいように適切な分量で、主体的な学習を引き出せるよう配慮されている。 ・全学年の教材内写真の割合が、1年平均46%と多く、写真を通して、その音楽の情景なども伝わるように配慮・工夫されている。
⑩ 内容の配列及び進本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	◎	・配色やレイアウト、文字が、読みやすい書体や色使いが採用されている。 ・音楽ハローモニカのイラストに音楽が描かれていたり、ユーチューブのアイコンが採用されている。 ・音楽ハローモニカのイラストに音楽が描かれていたり、ユーチューブのアイコンが採用されている。 ・教材に使われている文字の大きさや配置が読みやすく、読みやすいように配慮されている。
⑪ 今日の課題への配慮や各種目において調査を必要とする事項等	◎	

	調査実施項目	評価	教科書の名称 発行者の番号・略称 小学生の音楽 27・教養 理由
①	(1)各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見し解決策を考へる学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・学習活動を「考える」「見つける」「歌う・演奏する・つくる」のマークで示し、児童が思考力・判断力・表現力や知識・技能に関わる内容を意識しながら主体的に学べるように工夫されている。 ・題材内の他の教科と関連しながらワークシートに音楽づくりができるよう工夫されている。 ・キャラクターの吹き出しにより児童が意見交流したり、考えを広げたりしている。 ・1年生の練習曲の曲に合わせて体を動かす活動では、絵や曲線、点で動きと音楽をリンクさせており、子どもが進んで運動したくなる工夫がされている。 ・5名の作曲家、3名の演奏者を含めた教科書作成・編集で、音楽の世界を伝える熱量や工夫が取り入れられている。
②	(2)基礎能力や横断的思考力の育成を図るための工夫	◎	・6年生の音楽づくりにおいて二次元コードの資料が用意され、児童が実行錯誤しながらよりよい音楽づくりができるよう配慮されている。 ・イラストを多く使用し、写真では出せない楽しさがあり、特に低学年の音楽に触れる指路によって楽しく、学べると感じた。
③	(3)情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・二次元コードに参考音楽が用意されており、個別に学習したり、グループで学び合ったりして、ICTを活用した学習活動が可能になっている。
④	(4)学習の見通しを立てたり、学習したこと振り返り送ったりするための工夫	○	・年間を通して学習の見通しがもてるように巻頭に「学習マップ」が示され、巻末には「ふりかえりのページ」で学習した内容がいっつも確認できるように工夫されている。 ・全学年を通して、單元ごとに具体的な振り返りがあり、次の学習につなげることができている。 ・各題材の始めのページにねらいを、最後のページにふりかえりが示され、児童が「何をきんだのか」「何ができたようになったのか」を自覚しながら主体的に学べるよう工夫されている。
⑤	(5)各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	◎	・身の回りで耳にした音を音楽づくりの学習に取り入りたり、音楽を通して家庭や社会とのつながりを感じられる活動や、音楽活動が社会に果たす役割を考えるようなプログラムを掲載したりして、児童の音楽の興味・関心と音楽の学習につながるよう工夫されている。 ・音楽教師にははぐくもうつたえようと題して、地域の文化や芸術に興味を持ち、親しみを感じられるように、各地で郷土の祭りや芸術に取り組む、それらを受け継いでいる小学生的の学習を継続している。6年生では、今は抱けない文楽が取り上げられていく。 ・地域の祭りや伝統文化のなかで音楽や楽器、踊りなども資料として手づ、音楽と地域の結びつきを知り、減少している地域の担い手の育成にもつながる。
⑥	(6)児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫	◎	・それぞれの学習内容に応じてキャラクターを登場させ、吹き出しから児童の気づきや思考を促したり、活動を発展させるヒントを示したりして、児童の興味・関心を引き出すように工夫されている。 ・聴聞の学習では、仲間とのつながりを感じさせさせる歌詞と美しい和音で子どもの自主的な学びを促す曲になっている。 ・児童自身身近なテーマで音楽にまつわる情報を検索やコラムが設けられ、児童の興味・関心を生かして幅広い音楽の知識が広げられるよう工夫されている。
⑦	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	◎	・3年生「ちいさにつたわの祭りはやしを調べよう」4年生「ちいさにつたわのおどりとやまの音楽を調べよう」では社会科学との関連が図られている。 ・4年生「ごんぎつね」では物語の朗読と歌、リコーダー演奏などの組み合わせた音楽劇等の活動が考えられ、教科横断的な学びが期待できる。
⑧	(8)内容配列相当の分量	○	・全学年を通して、目次や教科書のマーク等が統一されており、学習活動が見て分かるようになっている。
⑨	(9)教材・資料等の分量		
⑩	(10)内容の配列及び造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等		
⑪	(11)今日の課題への対応や各種目において調査を必要とする事項等		

图画工作

教科書の名称 発行者の番号・略称		図画工作 9・開隆堂		図画工作 116・日文	
調査項目		評価	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	◎	・児童が発想や構想を深めながら造形的な活動に主体的に取り組めるよう工夫されている。(1・2年上P18～P19) ・二次元コードから「アイデアシート」をコンテンツとして利用できるような工夫されている。	◎	・活動場面の様子の写真を見やすく配列し掲載することで、児童が発想や構想を深めながら造形的な活動に主体的に取り組めるよう工夫されている。(1・2年上P20～P21) ・各巻に教科書美術館のページがあり、造形的な見方や考え方が広がるよう工夫されている。(3・4年上P29)
	(2)言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	○	・鑑賞の題材では、発表や話を聞く様子を具体的に示してあったり、話すための鑑賞シートがコンテンツとしてあったりするなど、児童の言語活動が図られるよう工夫されている。(1・2年上P10～P11)	◎	・活動中の対話の様子を写真や吹き出しで示し、活動の中に自然と対話が生まれてくる工夫がされている。(3・4年上P22～P23) ・巻末の「アート・カード」など、様々な対話を生かした鑑賞方法を紹介し、児童の対話活動のヒントになるよう工夫されている。(3・4年上P54)
	(3)情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	○	・製作の見通しや、作り方の参考になる「タブレットたんまっで見てみよう」にアクセスできる二次元コードが配置されている。(1・2年上P30)	◎	・タブレットで撮影したものを生かして制作したり、タブレットからの情報を活用したりする題材が設定されている。(5・6年上P54～P55) ・二次元コードを組み合わせることで作り方の動画を視聴できる工夫が、活動の流れがわかりやすい。また、各巻の「道具の使い方」や、材料の提示、全国の児童の作品が多数掲載されており、指導に生かしやすい。さらに、作家のインタビューなどもあり、学びを広げる工夫がされている。(5・6年上P59)
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	・学習のめあてをキャラクターを使って分かりやすく提示し、学習のポイントではめあてに沿ったキャラクターが、言葉や投げかけを行っている。(3・4年上P28～P29) ・二次元コードでふりかえりシートを出すことができ、自己評価を行いやすいように工夫されている。	◎	・学習をサポートする投げかけが記載されており、学習の見通しを持たせて活動させる流れが示されている。(3・4年上P14) ・用具についての説明や用具の使い方が二次元コードを踏み込んで見ることができ、一人一人の学習に合わせて使うことができる。(3・4年上P49)
	(5)各教科の目標に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	○	・各巻の巻末に「みんなのギャラリー」として身近な地域のよさを生かした取組が紹介されている。(3・4年上P56～P57) ・「小さな美術館」では、児童にとって身近な自然や造形物、日本や世界の美術作品を取り上げられている。(5・6年上P46～P47)	○	・「広がる図工」では、地域での活動例、地域の美術作品など、様々な事例が掲載されている。(5・6年上P36～P37) ・「教科書美術館」が、関連する題材のページと連続して配置され、題材と一体的に扱っている動きを促しているよう工夫されている。(5・6年上P22～P23)
2 使用上の便宜	(6)児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	・児童が興味を持ち、やってみようと思うような題名や、表情豊かな児童の活動場面の写真を掲載して、児童の主体性や興味・関心を引き出すための工夫がされている。(1・2年上P46～P47) ・掲載されている児童の作品に、テーマや作成者の意図などが記載されており、興味・関心につながる工夫がされている。	◎	・活動を楽しむ写真が多く載せられており、作品を制作するなかでのヒントとなるような投げかけをすることで、その活動に興味・関心をもてるように工夫されている。(3・4年上P44～P45) ・各巻の「材料と用具の引き出し」では用具についての説明や使い方が記載されており、題材の学習の中で興味・関心を促すことができる。
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	○	・「あわせて学ぼう」で他教科とのつながりのヒントが示されている。	○	・各題材に「つながる学び」が示されており、他教科等の学習内容と結びつけられている。(1・2年上P34～P35)
	(1)内容別配当の分量				
3 その他	(2)教材・資料等の分量	○	・目次が大きく見やすい。学習の内容を色やキャラクターで示されており、わかりやすい。誰でも読みやすいユニバーサルデザインが使用されていたり、当該学年配当漢字への総ルビや、各図版に図版番号を付したりし、わかりやすく使いやすいう工夫がされている。 ・「未来へつなぐ」の図版「中・小学校の子どもたちが活躍している内容を取り上げ、勤労を通して主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう工夫されている。(5・6年上P66～P69)	◎	・図版の配置や構成など、誰もが学びやすいように、ユニバーサルデザインに配慮して編集されている。ユニバーサルデザインが使用されていたり、様々な国の児童とともに学び合うことが自然に感じられるよう工夫されている。 ・幼児期の活動内容に近い題材が取り上げられており、小学校の学習へスムーズに入れるような工夫がされている。(1・2年上P2～P7) ・中学校での活動の様子や写真を取り上げ、図画工作で学んだことを今後の生活に生かすことができるよう工夫されている。(5・6年上P66～P67)
	(3)内容の配列及び進本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等	◎	・2021の東京オリンピックの開会式の演出や人気アニメーション作品などが取りあげられており、図画工作で培った力が身近な社会につながっていることを示している。(3・4年上P2～P3、5・6年上P2～P3)	◎	・SDGsに關わる多くの課題に対して、活動を通じて考える題材や事例が取り上げられている。(3・4年上P32～P33) ・「きをつけよう」「かたづけ」のコメントが設けられ、安全で適切な扱いができる工夫がされている。 ・自然の持つ美しさや、自然から感じたり、見たりするものなどを生かした題材が多く提示されている。(1・2年上P30～P31、P42～P43)

庭 家

教科書の名称 発行所の番号・略称		新編 新しい家庭 2・東書		わたしたちの家庭科 9・開誠堂	
調査項目	評価	理由	評価	理由	
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	◎	・生活をやよりよくしようとする資質・能力の育成に重点を置いた内容である。 ・「活動」の中で「考えよう」「話し合おう」「ついでによう」など、学習したことを活用して考えたこと、調べたこと、話し合ったこと、交流した活動が盛り込まれており、主体的・対話的な学習につながる活動が工夫されている。 ・絵や写真を効果的に使用し、家庭科への興味をわくような構成、資料提示となっている。 ・めあてが具体的に分かりやすい。 ・実習後に「できたかな」の自己評価の記述がある。(P17等)	○	・家庭生活や家庭の題材が最初からあり、生活を見つめ直すことから学習を始めることができる。 ・自分たちの生活の中から課題を見つけて、活動を通して、できるところになつたことを記録したり、周りの人と交流したりして、学んだことを実際の生活に生かせるような学習の進め方となっている。 ・実習後に「できたかな」の自己評価の記述がある。(P16、P23等)	
◎	◎	・家庭科に関する用語の解説があり、分かりやすく簡潔な表現で記載されている。 ・「生活のまわりのこと」として、衣類や家庭、地域の人々への関心・発想も含めた学習活動の充実につながる工夫がある。 ・重要な語句は、赤字で記載されている。	◎	・用語の解説や家庭科に必要な知識が記載されている。 ・重要な語句は、赤字で記載されている。 ・学習内容と身の回りのことにある家庭用語にプログラムされた内容とのつながりについて分かりやすく記載されている。	
◎	◎	・「Dマーク (Webコンテンツ)」の表記がある項では、インターネットを活用して学習技能などの動向による学習が可能になっている。 ・Webコンテンツが豊富であり、考えを深め、整理する思考ツールやワークシート (P13、P16等)、実習動画 (P16、P17等)、調べ学習に活用できる図鑑などがあり、個別最適な学習に活かすことができる。	○	・動画、アニメーションをはじめとした思考力の伸長、知識・技能の定着など学びを支えるためのデジタルコンテンツに関するマークを多数掲載している。	
◎	◎	・問題解決型の学習の進め方について、各単元の学習の流れが3ステップ (「見よう」「計画しよう」「実践しよう」) で構成されている。 ・各ステップには「めあて」と「ふりかえり」が明示され、主体的に学習を進める工夫がなされている。 ・各単元の学習の進め方について、各単元の学習の流れが3ステップ (「見よう」「計画しよう」「実践しよう」) で構成されている。 ・各ステップには「めあて」と「ふりかえり」が明示され、主体的に学習を進める工夫がなされている。	○	・問題解決型の学習の進め方について、各単元の学習の流れが3ステップ (「見よう」「計画しよう」「実践しよう」) で構成されている。 ・各ステップには「めあて」と「ふりかえり」が明示され、主体的に学習を進める工夫がなされている。	
◎	◎	・「生活を見よう」では、自分の生活を見直し、学んだことを生かして生活をやよりよく変えていこうと挑戦していく取組の記載がある。 ・学んだことを生かして、家庭や地域と関わりながら自分自身でできることを実践していく取組の記載がある。 ・「プロに聞く！」では、社会で活躍している方々の考えや思いを知ることができる。	○	・「レッツ トライ」生活の課題と実践の取り組み方を5つのステップで示し、具体例をヒントに自分の生活の課題に取り組みやすくしている。家庭だけでなく、学校や地域単位で行える実践の工夫を提示している。 ・自分たちが住む地域の人たちの関わりを見つめ、地域の一人として自分自身でできることを考える取組の記載がある。	
◎	◎	・児童が主体的に学習に取り組めるよう、イラストや写真を用いた分かりやすい説明が随所に見られる。 ・動画やデジタルコンテンツを活用することで、児童自身が苦手な箇所を学習や復習をすることができ、自分のペースで学習を進められる。	○	・日本各地の伝統的行事や食文化に関する内容や様々なキャリアで地域で活躍している方を掲載し、児童の興味関心を引き出す工夫がされている。	
◎	◎	・教科名及び学年、学習内容の記載があり、他の教科や中学校との関連マークで表示し工夫が現れる。 ・家庭科に関連する言語が、絵と日本語、英語で表示されている。	◎	・教科名及び学年、学習内容の記載があり、他の教科や中学校との関連マークで表示し工夫が現れる。 ・家庭科に関連する言語が、絵と日本語、英語で表示されている。	
◎	◎	・学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。	◎	・学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。	
◎	◎	・実習内容が写真を中心に大きく掲載されており、分かりやすい。資料がテーマごとに分けられており、見やすい。	○	・写真・イラスト、用語説明など紙面上の資料が豊富である。	
◎	◎	・右利きと左利きの両者の用具の使い方が表示されている。動画においても両者ともにすぐに見ることができ、使い方の違いが分かるように、実大写真である。また、写真とイラストを組み合わせた表記の工夫がなされている。 ・各ステップが図示されているため、見通しが持ちやすい。 ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザイン (CUD) の観点から配色やデザインに工夫がなされている。 ・ユニバーサルデザインポイントを使用し、どの児童においても見やすく、読みやすい文字となっている。	○	・右利きと左利きの両者の用具の使い方が表示されている。 ・各ステップが図示されているため、見通しが持ちやすい。 ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザイン (CUD) の観点から配色やデザインに工夫がなされている。 ・ユニバーサルデザインポイントを使用し、どの児童においても見やすく、読みやすい文字となっている。	
◎	◎	・今日の問題への配慮や各項目において、児童が必要とする事項等	◎	・環境学習、安全学習、防災、伝統文化、キャリア教育に関する記載がある。 ・活動や作業において、事故防止や安全面を配慮した事項の記載がある。 ・多様性に配慮したイラスト・写真を掲載している。	

保 健

教科書の名称		発行者の番号・略称		新わたしたちの保健 207・文芸社	
調査項目	評価	新編 新しい保健 2・東書		新 小学校保健 50・大修館	
		理由	評価	理由	評価
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	○	・学習の進め方が「話し合う」「考えよう」「調べよう」となっていることで、主体的に学習を進め、児童が自主的に学習に取り組むことができる。	○	・単元の初めには見聞き1ページ程度の大きなイラストがあり、イラストを見ながら問題点を発見することや、イラストを見ながら対話することができる。	○
2 使用上の便宜	○	・教科書に直接書き込める欄が多く、書くことで自分の考えを整理でき、論理的思考力を高められる。	○	・各単元の最後には「学習を振り返ってみよう」があり、単元で学習したことをもう一度振り返ることができる。	○
3 その他	◎	・二次元コードを踏みとることによって学習内容に関連する動向を見ることができ、児童に理解を深めるのにつながる。	○	・生活習慣調べるがある。	○
		・生活習慣調べるがある。	○	・生活習慣調べるがある。	○
		・デジタルとの付き合い方がある。	○	・ページ下に「ミニ知識」が載っており、児童の目に留まりやすく、理解を深めることにもつながる。	○
		・他の教科等との関連を図った学習活動を実施するための工夫。			
		・内容配列の分量			
		・教材・資料等の分量			
		・内容の配列及び造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮			
		・編集上の工夫等			
	◎	・性の多様性に配慮した記述である。 ・イラストが人権に配慮されている。 ・睡眠、コミュニケーション、ネット犯罪、生活習慣について取り上げている。	○	・スマホとの付き合い方、運動のし過ぎの例、ながらスマホ、フェイクニュース、ネット犯罪、ウイルスの説明など、新しい問題への記述が豊富。	○

教科書の番号・略称		教科書の名称		新・みんなの保健 224・学研	
調査項目		小学保健 208・光文	理由	評価	理由
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	①各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見し、解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫	○	・「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生かそう」と言うパターンで見出しが設定されており、授業の流れを意識しやすい。 ・問題点を見つけて解決策を考えていく学習ができ、対話的に授業を進められるよう工夫されている。	◎	・自分の生活を振り返りや、「予想しよう」で、短時間で学習内容への興味関心を高めるように工夫されている。 ・小単元は「1自分で考える」「2友達やみんなと考える」「3身につけたことを生かす」の3段階で構成されている。 ・記述スペースに余裕があり、自分の考え、話し合い後の気づき等を書くことができる。 ・単元の最終ページには、「ふり返る、伝える、つなぐ」として学びを整理し、実生活までつなげていく内容になっており、学習を深められるように工夫されている。
	②言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫			○	・「ことば」という欄を設け、大切な言葉を一文程度で説明している。(3・4年P10「休養」P38「異性」) ・書く欄を多く設定しており、自分の考えを整理でき、論理的思考を高められる。
	③情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫			◎	・各時間の最後に、二次元コードを読み取ることで、ワークシートに学習の振り返りを書き込める。評価にも活用できる。 ・二次元コードからの静止画、動画のデジタルコンテンツが充実しており、興味をもって学習に取り組める。
	④学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	・「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生かそう」という流れで学習することで、学習のつながりを意識しやすい。	○	・1時間は4ページの構成になっており、最初に学習の進め方がわかりやすく示されており、学習の見通しをもつことができる。 ・1時間の流れは、振り返り→話し合う→学びを生かすというサイクルを意識して構成されている。
	⑤本教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫			○	・生活習慣調べがある。 ・単元の最後には、「ふり返る」だけでなく、「伝える」「つなぐ」ことを考える構成になっている。このことで、学んだことで終わるのではなく、実生活につなげていくことができる。
	⑥児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫	○	・「人との接し方を考えてみよう」では、ソーシャルスキルの視点から解説している。	○	・思考期で子どもたちが悩みなような具体例が挙げられていることで、子どもたちの共感や関心につながり、その内容を授業のなかで取り上げやすくなっている。 ・「ほげんのはこ」「かがくの目」では、学びを広げたり、深めたりする資料が掲載されている。
	⑦他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫			○	・「つなぐ」に、関連する他教科のことが書かれていたり、二次元コードから他教科との関連を見たりすることができ、他教科との関連を図った学習活動が充実している。
2 使用上の便宜	①内容別配当の分量				
	②教材・資料等の分量			○	・写真やイラストが大きくて見やすい。1冊完結型で構成されている。 ・資料の量が適切である。
	③内容の配列及び造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等			◎	・情報量が丁度良い。見やすく学習しやすい。多くの児童に理解しやすいと思われる。 ・学習課題は、本文と色を区別しており、わかりやすい。 ・記入欄にアンダーラインがあることで、書きやすい。
3 その他	◎ 今日の内容の配列や各項目において調査を必要とする事項等		・スマホ、スクリーンタイム、ネットトラブル、SNS依存症を扱っている。 ・コミュニケーション力向上のソーシャルスキルが詳しい。 ・イラストが人権に配慮されている。	○	・心の健康の単元で不安や悩みへの対処が充実している。「いじめ」についても扱っている。 ・共生社会実現のための、身のまわりにある様々な工夫を取り上げている。

語

英

[illegible]

教科書の名称 発行者の番号・略称			Here We Go! 38・光村図書			Blue Sky elementary 61・啓林館		
調査項目	ONE WORLD Smiles '17・教出		理由	評価	理由	評価	理由	評価
	理由	理由						
(1)各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見し、主体的・対話的に学習する力の育成を図るための工夫				◎	各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	導入ページに単元すべてのstepのゴールもそれぞれ示されており、取り組むべき「Watch and Do」のステップを踏んで、課題に合わせて学習活動は、シャドーイングの活動に似ており、主体的に学ぶ意欲につながる。	
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫				◎	写真、イラストと英語表現がともに示されているページが多く、日本語を通してではなく、イメージで表現がわかるようになっている。 ・より具体的なゴール活動とより具体的なゴール活動とを組み合わせる工夫がある。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・チャンツがそれぞれ英文でも書かれており、アクセントをどこにつければよいかが記号で示されている。 ・書く学習内容が多く取り入れられている。	
(2)情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫				○	小学校の外国語の授業でどのようにICT機器が活用されているかの紹介があり、様々なICT機器の活用について工夫がある。	○	インターネットを活用した調べ学習を促すコーナーを設けている。	
(3)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫				◎	単元のゴールや学習目標がHop Step, Jumpで統一されており、それぞれの単元でできるようなことと目標設定から学習を始めるよう工夫されている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・より具体的なゴールが示されている。また、ある表現を一つのUnitで扱うことがないよう、既習学習に引き継ぎ、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されている。児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	
(4)児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
(5)各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
(6)児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
(1)内容別配当の分量				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
2 使用上の便宜				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
(2)教材・資料等の分量				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
(3)内容の配列及び造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	
3 その他				○	・自分の見通しを立てたり、振り返り、4つの項目に沿って達成度を確認できるような工夫がされている。 ・各単元の導入時にUnit全体のゴールとHop Step1, Step2, Jumpのゴールが示され、Unit内にも一歩一歩のゴールが示されており、毎時間の目標が明確である。より具体的なゴールもあり、児童への意欲にもつながる。 各Unitには、一人一人の「知りたい」「伝えたい」を大切にしながらゴール活動が設定されているので、児童が興味・関心をもち、学習意欲が高まること期待される。	○	・6年Unit3で自分の住む地域をより良くするためのアイデアを伝える活動がある。	

道德

教科書の名称 発行者の番号・版次				
調査項目	評価	理由	評価	理由
新編 新しい道徳 2・東書				
小学道徳 はばたこう明日へ 17・教出				
道徳 きみがいちばん ひかるとき 38・光村				
調査項目	評価	理由	評価	理由
(1)各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を思いだし、解決策を考えようという主体的・対話的に深い学びの実現に向けた工夫	○	・考えるためにツールとして「心のメーダー」が付いており、自分の考えを可視化したり、友だちと比べたりできている。 ・情報モラルを扱う教材は、子どもたちにとってICT端末を使う際の身近なシチュエーションを取り上げており、主体的に考えやすい。 ・身近な問題を見つけて考えよう」では、子どもたちが考えやすい場面を取り上げて、多面的・多角的に考えながら話し合う学習過程を提示している。	○	・「問題をかいつくししよう」では、子どもたちが考えやすい場面を取り上げ、子ども自身が問題点を見つけ、解決方法を考え、自分の生活に生かそうとするような学習過程を提示している。
1 学習指導要領に定める教科書の目標を達成するための工夫			○	・教材の中の会話部分が使われておらず自分かかんがえるようになっている。「やってみよう」で自分だっただけで終わるのではなく、考えるのかをやってみよう、書いてみようという段階があり、書くことで、道徳的価値について理解を深めるとともに言語能力を育成することができるようにしている。
(2)言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫			○	・「考えるヒント」では道徳で使う言葉として話し合いを深めることができるような内容が提示されている。話し合いを促すための手がかりや活動の手立てを重視している。
(3)情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の実施を図るための工夫	◎	・1年の入門期を除き、それぞれの教材に二次元コードが付いている。「問題」「スライドショー」「デジタルノート」が活用でき、教材提示の方法を選択できたり、ICT端末を活用し子どもたちが感じたことや考えたことを記入することができる。いくつもの教材では動画を見ることができ、子どもたちがイメージしやすい。【1年8・11・13・20・25・33】【2年10・11・17】【3年3・4・6・21・25・32】	○	・全教材に朗読音声や挿絵、ワークシートが付属している
(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	○	・1年の入門期を除き、それぞれの教材に二次元コードが付いており、「デジタルノート」により振り返りができるようにになっている。「自己を見つめる」ための問いが的確で、詳細にも活用しやすい。	○	・それぞれの教材の「考えよう・話し合おう」では、学びのテーマが太字で提示されており、何について学ぶのか分かるようになっている。 ・「つなげよう」の欄がある教材では、自己を見つめてよりかえりやすい問いが載っている
(5)各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫				
(6)児童の興味・関心を生かした自主的な学習を促すための工夫	○	・いじめの防止について様々な観点から考えられるようユニットとなっている。		
(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫				
1 内容配当の分量				
2 使用上の便宜				
(2)教材・資料等の分量				
(3)内容の配列及び活字上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等				
3 その他	○	・1・2年生では「つなげる ひかるる」で関連する絵本が数多く紹介されており、学習を広げることができるようになっている。	○	・低学年の情報モラルを扱う教材では、ICT端末の取り扱いに特化することなく、情報モラルの取り方を身に付けなければならないことを取り扱っており、情報モラルの入門としてどの子にも考えてもらいたい内容であり、分かりやすい。 ・3年生では、「タンタンタンゴ」が教材として取り上げられており、LGBTQについて考えるきっかけになる。

教科書の名称 発行者の番号・略称					新版 みんなの道徳 224・学研	
調査項目		小学道徳 生きる力 1.1.6・日文	理由	小学道徳 ゆたかな心 208・光文	理由	評価
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1)各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を発見し、解決策を考え、主体的・対話的に深い学びの実現に向けた工夫	◎	「心のペンチ」では、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考え、整理したり、多面的・多角的に考えを深め、主体的に学習に取り組める。どの教材も「考えよう」「考えよう」「考えよう」「考えよう」という考えの流れが提示されており、「まとめよう」で自分の事として考えられるようになっている。	◎	「締めよう」では、道徳の学び方が示されており、自分の考えを待つことやそれを交流すること、また、交流したのち、もう一度自分の考えを振り返ったり、自分の生活を振り返ったりできるようにされており、主体的・対話的な学びになるよう工夫されている。	◎
	(2)言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫	◎	二次元コードを読み取ることで道徳の学びの仕方が具体的に示されている。でき、話す、聞く、書くの活動の仕方が具体的に示されている。	◎	「みんなできやってみよう！」では、子どもたちが遭遇しやすい場面設定で子どもたちが自分の事として考えやすくなっている。	◎
	(3)情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫	◎	二次元コードから、アニメーションや動画、画像、アプリケーションを見ることができ、教材提示の方法を選択できたり、子どもたちが教材内容をイメージしたり理解したりしやすいようになっている。	◎	いくつかの教材に二次元コードが付いており、写真や動画、登場人物のメッセージ動画が視聴でき、教材理解をサポートしてくれる。	◎
	(4)学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫	◎	3つの発問で学習の流れがつかみやすくなり、深い学びにつながりやすい。	◎	どの教材も「考えよう」「考えよう」「考えよう」「考えよう」「考えよう」という考えの流れが提示されており、学習の見通しを立てやすくなっている。	◎
	(5)各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫	◎	生活の中で、道徳的価値を見つける活動が設定されている。			
2 使用上の便宜	(6)児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫	◎	各教科の学習の進め方がわかりやすく、教材で何を考えようといいたいのか、子どもたちがわかりやすくなっている。	◎	1年生から先人の語が取り扱われている。子どもたちもよく知っているであろう人物が扱われており子どもたちが興味関心を持ち学習に取り組めるようになっている。(1年生ウオレットアイズニ、やなせたかし、2年生さかなクン、大崎光市、3年生安藤百福、山口英世、内村航平、手塚治虫)	◎
	(7)他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫	◎	教科書巻末の目次に明記されている分りやすい。			
	(1)内容別配当の分量					
	(2)教材・資料等の分量	◎	各学年、別冊ノートが付いており、自分の思いや考えを確かめたり、振り返りやすくなっている。また、二次元コードを簡単に取ることによりデジタルでの対応ができる。本教材として、1年生は34本、2・3年生は35本に加え、付録として各学年3本付録教材が掲載されており、クラスに合わせた指導ができるようになっている。	◎	本教材として、1年生は34本、2・3年生は35本に加え、付録として1年生は6本、2・3年生は5本付録教材が掲載されており、児童の実態に合わせた指導ができるようになっている。	
	(3)内容の配列及び造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等					
3 その他	今日の課題への配慮や各項目において調査を必要とする事項等	◎	「いじめ防止コンニャット」として、毎学期いじめ防止に関する教材が集中的に学習できるよう工夫されている。			

採択地区別小学校用教科用図書採択状況一覧（令和2年度から使用）

上段：直近の採択

下段：旧採択（直近の採択と発行者が異なる場合）

採択地区	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	保健	英語	道徳
北勢第1	光村	光村	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	東書	光文	東書	教出
		東書		東書						開隆堂	学研	光文	
北勢第2	東書	東書	日文	帝国	東書	啓林館	日文	教芸	日文	開隆堂	東書	教出	光文
	光村												
北勢第3	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	開隆堂	東書	光村	光村
津	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教出	日文	東書	学研	東書	学研
							東書	教芸					
松阪	光村	日文	日文	帝国	東書	東書	大日本	教芸	日文	開隆堂	東書	東書	学研
							東書	教出			学研		
伊勢・度会	東書	光村	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	開隆堂	東書	東書	開隆堂	日文
		東書					学図		日文				光文
鳥羽・志摩	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	開隆堂	東書	東書	光村
											学研		
伊賀	光村	東書	日文	帝国	東書	啓林館	日文	教芸	日文	開隆堂	東書	東書	日文
											学研		
尾鷲	光村	東書	教出	帝国	東書	東書	大日本	教芸	日文	東書	学研	教出	日文
熊野	光村	光村	日文	帝国	東書	啓林館	啓林館	教芸	日文	東書	東書	教出	東書
		東書		東書									

※ 東書…東京書籍、大日本…大日本図書、開隆堂…開隆堂出版、学図…学校図書、教出…教育出版、教芸…教育芸術社、光村…光村図書出版、
帝国…帝国書院、啓林館…新興出版社啓林館、日文…日本文教出版、光文…光文書院、学研…学研教育みらい、

採択地区別中学校用教科用図書採択状況一覧（令和3年度から使用）

（採択替えがあったところのみ併記。上段が新採択、下段が旧採択）

採択地区	国語	書写	社会			地図	数学	理科	音楽		美術	保健体育	技術・家庭		英語	道徳
			地理	歴史	公民				一般	器楽合奏			技術	家庭		
北勢第1	光村	光村	帝国	東書	日文	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	光村	日文
		東書		日文			東書								三省堂	
北勢第2	光村	東書	帝国	東書	日文	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	日文	大修館	開隆堂	開隆堂	光村	教出
													東書	東書	三省堂	
北勢第3	三省堂	光村	帝国	東書	東書	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	光村	学研	教図	教図	東書	日文
		東書	東書		日文		教出	学図					東書	東書	教出	
津	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	東書	日文
		東書		日文												
松阪	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	日文	学研	東書	東書	東書	東書
				日文	日文						開隆堂		開隆堂	開隆堂		
伊勢・度会	光村	東書	東書	日文	東書	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	光村	学研	東書	東書	啓林館	光村
							東書					東書		開隆堂	三省堂	
鳥羽・志摩	光村	東書	東書	東書	東書	帝国	東書	啓林館	教出	教出	日文	東書	東書	東書	三省堂	東書
							啓林館		教芸	教芸	光村	大日本				
伊賀	三省堂	光村	帝国	日文	日文	帝国	数研	啓林館	教芸	教芸	光村	学研	開隆堂	開隆堂	東書	教出
		東書									日文		東書	東書		東書
尾鷲	東書	光村	帝国	日文	日文	帝国	啓林館	啓林館	教芸	教芸	日文	学研	東書	東書	三省堂	東書
	三省堂			東書	東書		東書									
熊野	東書	教出	帝国	日文	日文	帝国	啓林館	啓林館	教出	教出	日文	東書	東書	東書	三省堂	東書
							東書	東書							教出	

※ 東書…東京書籍、大日本…大日本図書、教図…教育図書、開隆堂…開隆堂出版、学図…学校図書、三省堂…三省堂、教出…教育出版、教芸…教育芸術社、
光村…光村図書出版、帝国…帝国書院、大修館…大修館書店、啓林館…新興出版社啓林館、数研…数研出版、日文…日本文教出版、学研…学研教育みらい、